講座（司会原稿） 文例

☆以下は一例です。必要な内容を加除訂正してお使いください。また順番も変更して構いません。

☆「家庭教育学級の説明」につきましては、周知のため、ぜひ入れていただけますと幸いです。

【講座の内容が始まるまで】

|  |  |
| --- | --- |
| はじめの言葉 | これから、○○学校 家庭教育学級 「（講座名）」を始めます。 |
| 家庭教育学級の説明 | 家庭教育学級とは、子どもにかかわり合う大人が学び合う場です。  家庭でのよりよい子育てについて考え、親として子どもと一緒に成長することを目指します。本日の講座が、皆さんがお子さんとより良い関係を築けるようなきっかけとなることを願っています。 |
| 自己紹介 | では、本日参加してくださった皆さんで、自己紹介をし合いたいと思います。  例）「お子さんの学年、ご自分のお名前、最近お子さんがはまっていることを一言ずつお願いします。」  ＊場を和ませ、参加者がお互いに知り合うための時間です。  ＊下線部については、誰にでも答えやすい質問を設定すると、  安心して参加できるのではないでしょうか。  　　・今日の朝ごはんは？  ・今日の講座で楽しみにしていることは？ 　など  ＊人数が多ければ、隣同士や同じテーブルの人と行いましょう。  ありがとうございました。今日知り合えたのも何かの縁です。  これから学校や町ですれ違った時には、ぜひあいさつをし合いましょう！ |
| 講師紹介 | では、本日の講師の先生をご紹介します。「○○　□□」先生です。  ○○先生は、▲▲で活躍してらっしゃいます。  今日は、「～～～」というテーマでお話をしてくださいます。  　　　 「―――」を教えてくださいます。  よろしくお願いします。 |

どのタイミングで講師の先生にバトンタッチするのか、事前に打ち合わせておきましょう！

【講座の内容が終わってから】

|  |  |
| --- | --- |
| 講師へのお礼 | ○○先生、ありがとうございました。 |
| 感想交流 | 今日の講座で感じたことなどを、隣同士で（近くの方と）話し合いましょう。  ＊感じたことを言葉にすることで、自分が学んだことを  もう一度振り返ることができます。  ＊参加者同士で話し合うことにより、共感が生まれたり、  新たな考え方に気がついたりするきっかけとなります。  ＊短い時間で構わないので、ぜひ感想交流の時間を取り  　入れてください。  ありがとうございました。  実りの多い講座となったことを願っています。 |
| 終わりの言葉 | これで、○○学校 家庭教育学級「（講座名）」を終わります。  本日は、ご参加ありがとうございました。 |
| お知らせ・  お願いなど | ＊運営委員の募集や、次回の講座のお知らせ、  　アンケートのお願い等があれば、ぜひ行いましょう。 |